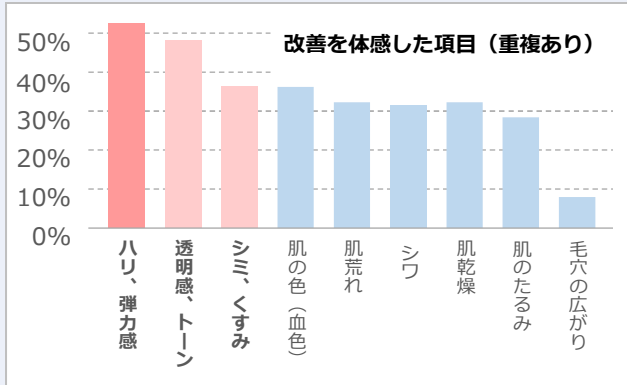


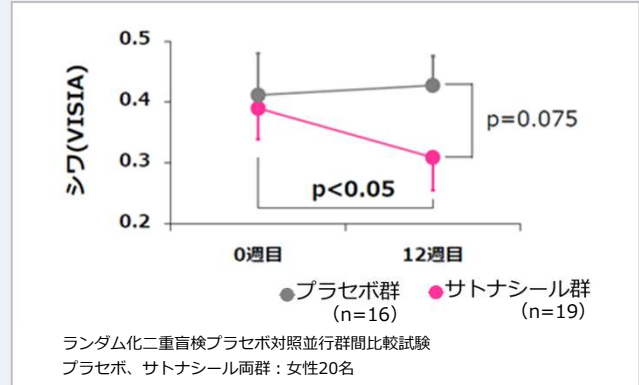
サトナシールはモニター試験・臨床試験において 「ハリ・弾力感」「シワ」の項目で高い体感・効果がみられます。

●サトナシール社内モニター試験結果¹⁾
(300mg/日、4週間)



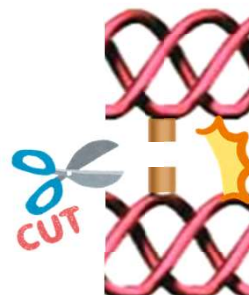
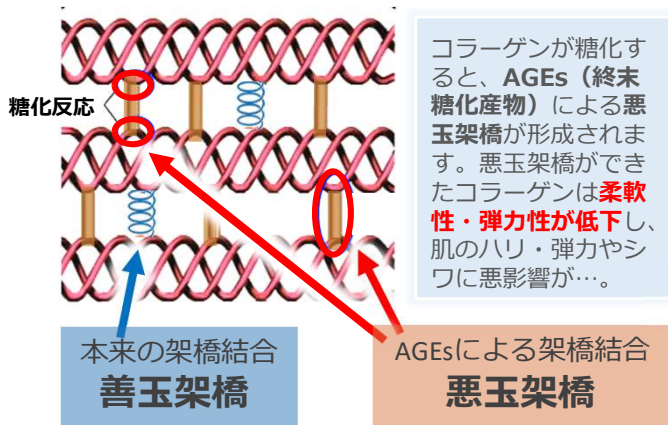
1)社内データ
被験者：34名 (男性：9名、女性：25名)

●サトナシール臨床試験結果²⁾
(100mg/日、12週間)



2)抗糖化作用に着目した混合ハーブエキスの摂取による美肌作用の評価：ランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験。Glycative Stress Res. 2021, 8(2), 98-109.

「ハリ・弾力感」「シワ」にサトナシールが「効く」メカニズム



サトナシールには悪玉架橋を切断・分解し、代謝を促進する作用があります。

このメカニズムを裏付ける
新たなデータを取得しました

生体タンパク質 (リゾチーム) を用いた 架橋切断試験

コラーゲンでのメカニズム検証にさきがけ、ヒトの体内組織に含まれる生体タンパク質で、サトナシールの架橋切断試験を実施。

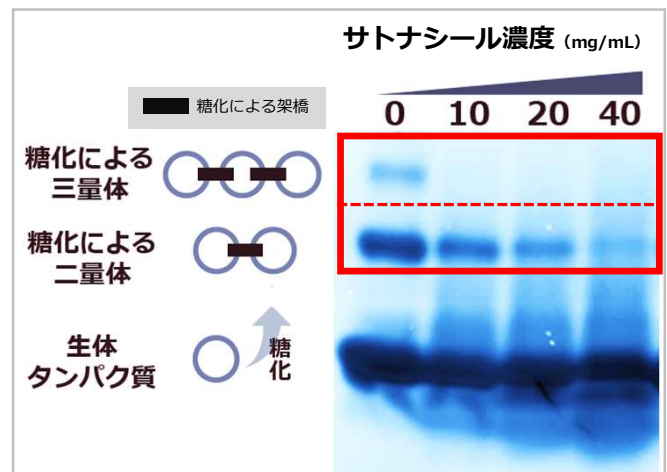
(コラーゲンと同じく、糖化による架橋構造を形成する生体タンパク質「リゾチーム」を使用)

【試験概要】

- ①リゾチームとグルコースを60℃、40時間反応 (糖化反応)。糖化によって分子間の架橋構造が形成された、リゾチームの二量体・三量体を含む、糖化リゾチーム溶液を作製。
- ②糖化リゾチーム溶液に、濃度の異なるサトナシール溶液を添加。37℃、16時間反応 (架橋切断反応)。
- ③反応液をポリアクリルアミド電気泳動 (SDS-PAGE) にて評価。

【結果】

生体タンパク質において、サトナシールによる悪玉架橋切断・分解効果が認められました。



【写真】糖化リゾチーム架橋切断反応後のSDS-PAGE画像